

NEWS

「よさこい」が披露されました。
2C 病棟でのイベント
手品と看護学生さんによる



長く行っていなかった、病棟のレクレーションを行いました。訪問看護師による漫談手品と、看護学生さんが実習最終日だったので「よさこい」の踊りを披露してくれました。患者さまやご家族の方、他病棟の方も来られていて、笑顔や驚きの表情や普段見られないような手をたく動作などもあり「楽しかった」「良かった」という声が聞かれました。ありがとうございました。

NEWS

初めて各部署の感染委員の取り組みを発表しました。

感染委員会のみんなの頑張りを発表する機会として、1月21日、2月17日の2回に分けて成果発表会を行いました。発表者はドキドキでしたが、日ごろの取り組みや成果のわかる発表会でした。お疲れ様でした。



記念写真が撮影できなかった。



毎年行っている、患者さまへの年賀状の取り組み。今年は、12月31日に夜勤をしていた主任さんが、元旦に患者さまにメッセージ入りの年賀状を配達してくれました。患者さまは、とても喜ばれ、ベッドサイドに長く飾られていたそうです。退院時にも忘れないように持って帰られました。が、記念撮影を忘れてしまいました。嬉しそうにされていた患者さまの笑顔をお届けできないのが残念です。でも、喜んでくださった顔が目に浮かぶので、皆さんで関わった患者さまの笑顔を想像してくださいね。

看護部長のひとりごと

看護師は、患者さまの命を守る、介護士は患者さまの生活を守る、この言葉を当法人の介護長が言われました。当院には、介護をしていて看護師になりたいと思ひ、頑張っ看護師になったスタッフがたくさんいます。最近では特に多くなりました。目指した理由を聞くと、確実な知識にもとづき、病態生理を理解したい、医療行為ができるようになりたい、急変したときに、対応できる力をつけたいなどがあります。でも、介護の方が楽しかったと、介護のプロとしてのやりがいの声を聞くこともあり、どのように関われば、看護師の仕事のプレッシャーから抜け出し、命を守るケアを行うことにやりがいを持てるのか、キャリアアップしたと感じてもらえるのか、日々悩むことがあります。看護師の仕事が本当に楽しいのに。。。

フレイル外来始まりました

フレイル何?
「フレイル」とは「健康」と「要介護」の間の状態を指します。高齢者が多くは加齢に伴ってフレイルの状態になり、生活の質が低下し、健康寿命が短縮される可能性があります。

フレイル外来の流れ

- 1 予約
- 2 初診
- 3 経過観察

初診の流れ

- 1 問診
- 2 医師による説明
- 3 医師による評価

フレイル外来の目的

- フレイルの状態を早期に発見し、生活の質を向上させる。
- フレイルの状態を改善し、健康寿命を延ばす。

フレイル外来のメリット

- 医師による診察
- 看護師による指導
- フレイル外来のメリット

フレイルとは、加齢によって心身が老化し、健康と要介護の間の虚弱な状態を指します。病気ではありませんが、介護が必要になりやすい状態です。厚生労働省は健康寿命延伸に向けた施策の柱のひとつとして「フレイル対策」を挙げており、2020年から「フレイル健診」が全国で開始されています。家族に高齢者がおられる方は元気で過ごしてもらえるように一度、健診をすすめてあげてください。経験豊富な医師が診察してくれます。

2月のお知らせ

2026年3月卒業の看護学生さんの インターンシップ・病院見学会が始まります。

今回から、一般病棟コース、手術部コースと分けて希望を聞いています。学生さんはぜひ参加ください。各所属は、対応をよろしくお願ひします。就職を早めに決めると、国試に全力投球できますよ。

